

2017 年度第 2 四半期決算

参考和訳

プレスリリース
2017 年 7 月 28 日、パリ発

事業部門の営業収益は堅調な伸びを示す

事業部門の営業収益：前年同期比 **+2.5%**

コスト節減策が奏功し営業費用が減少

事業部門の営業費用：前年同期比 **-0.4%**

リスク費用は大幅減少

前年同期比 **-16.3%** (36 BP*)

一時項目を除く四半期純利益が急増

株主帰属純利益：24 億ユーロ (一時項目を除くと前年同期比 **+17.2%**)

エクイティ **TIER 1** 比率が引き続き上昇**

11.7% (2017 年 3 月末現在 11.6%)

積極的な事業展開で順調に収益を伸ばす

* リスク費用 ÷ 期首顧客向け融資残高 (年率換算後のベースポイント) ; ** 2017 年 6 月末現在。資本要求指令 4 (CRD4) を全面適用した比率



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world

2017年7月27日にBNPパリバの取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長をつとめるなか、当グループの2017年度第2四半期の業績が検討され、当上半期に関わる中間決算報告書が承認されました。

積極的な事業展開で順調に収益を伸ばす

BNPパリバ・グループは、欧州の経済環境が改善するなか、当四半期に極めて良好な業績を収めました。

営業収益は当四半期に109億3800万ユーロとなり、前年同期と比べて3.4%の減収でした。かかる減収の要因として以下が挙げられます：前年同期の営業収益にはVISAヨーロッパ株の売却による一過性の譲渡益として+5億9700万ユーロが含まれていたのに対し、当四半期の営業収益にはユーロネクスト株の売却による譲渡益の+8500万ユーロが含まれていました。これとは別に、当四半期の営業収益には、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務評価調整額（Debt Value Adjustment: DVA）が合計で-2億ユーロ含まれていたのに対し、前年同期には-2億400万ユーロが含まれていました。

事業部門全体の営業収益は、当四半期に前年同期比2.5%の増収となりました。これを事業部門別にみると、国内市場部門¹では、事業開発が順調に進んだものの低金利環境を受けて、営業収益は0.3%の微減となりました。一方、国際金融サービス部門では前年同期比+3.2%で、またホールセールバンキング事業（CIB）では+4.6%で、いずれも着実に伸びました。

営業費用は、当グループ全体で70億7100万ユーロとなり、前年同期と比べて0.3%減少しました。当四半期の営業費用には、買込に関わる一過性の事業再編費用²として1500万ユーロ（前年同期は5000万ユーロ）が含まれていたのに加え、事業改編計画に関わる費用として1億5300万ユーロ（前年同期は5800万ユーロ）が含まれていました。なお、当四半期の事業改編費用は、プログラムが徐々に導入されたことから依然として限定的な水準に留まりました。

事業部門全体では、コスト削減策が奏功し、当四半期の営業費用は前年同期と比べて0.4%減少しました。これを事業部門別にみると、事業改編計画が早くも2016年年初に始動したCIBでは、前年同期と比べて6.0%の減少を果たしました。国内市場部門¹では、専門的金融業務の開発を受けて前年同期比1.6%増加しました（ただし、FRB、BNL bc および BRB だけをとると、増加幅は平均で0.5%に留まりました）。また、国際金融サービス部門の営業費用は、取引の増加を受けて前年同期比2.8%増加しました。

その結果、当グループの営業総利益は、一時項目の影響を受けて前年同期と比べて8.6%減少し、38億6700万ユーロとなりました。なお事業部門全体では、前年同期比7.4%の増加を果たしました。

リスク費用は当四半期に低水準に留まり、6億6200万ユーロで（前年同期は7億9100万ユーロ）、顧客向け融資残高の36bp相当でした。このような前年同期比16.3%の減少にはとりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、および、イタリアで優良法人顧客向け融資の見直しも奏功し、引き続き状況が改善したことが反映されています。

当グループの営業利益は、前年同期から6.9%減少して32億500万ユーロとなりました（前年同期は34億4100万ユーロ）。なお事業部門全体では、前年同期と比べて16.4%の増益でした。

営業外項目は、当四半期に2億5600万ユーロとなりました（子会社株式の評価切り下げがあった前年同期は8400万ユーロ）。

これらを受けて、当四半期の税引前利益は34億6100万ユーロとなりましたが、前年同期の35億2500万ユーロから1.8%の減益でした。なお事業部門全体では、当四半期の税引前利益は前年同期比18.1%の大幅増益を果たしました。

¹ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

² 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響

以上から、当四半期の株主帰属純利益は 23 億 9600 万ユーロとなり、前年同期と比べて 6.4%の減益でした。なお一時項目を除くと¹、当四半期の株主帰属純利益は 25 億 6600 万ユーロに上り、前年同期と比べて 17.2%の増益でした。

2017 年 6 月末現在、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率²は 11.7%となりました（2017 年 3 月末現在は 11.6%）。バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率³は、2017 年 6 月末現在で 4.2%でした。流動性カバレッジ比率は、2017 年 6 月末現在で 116%となりました。さらに、グループの即時利用可能な余剰資金は 2017 年 6 月末現在で 3440 億ユーロ（2017 年 3 月末は 3450 億ユーロ）に上りましたが、これは短期資金調達との関係で 1 年超の余裕資金があることを意味します。

1 株当たり純資産額は 2017 年 6 月末現在で 73.3 ユーロとなり、2008 年 12 月末からの年平均成長率（CAGR）は 5.7%に相当します。これは、当グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を有していることを証明しています。なお、2017 年 6 月 1 日に、1 株当たり 2.70 ユーロの現金配当が実施されました。

当グループは、2017-2020 年度事業開発計画を積極的に実施しています。同計画は、新たなカスタマーエクスペリエンス、デジタル変革、業務効率の向上などを目指す意欲的なプログラムです。グループはまた、内部統制およびコンプライアンス体制の強化を継続しています。さらに、グループは以下を目標に、意欲的な社会参画の方針を実施中です：倫理的な方法で経済に資金を供給；良い変化を目指して働きかける主体となる；従業員の育成や啓蒙を通して気候変動に立ち向かう。その一環としてグループは、Company Engagement Department（カンパニー・エンゲージメント部門）の設置を決定したところです。同部門は、かかる分野における活動を強化するために、グループの執行委員会の会議に代表出席します。

*
* *

2017 年度上半期において、営業収益は 222 億 3500 万ユーロに上り、前年同期から 0.3%の増収となりました。当上半期の営業収益には一過性の要因として、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務評価調整額（Debt Value Adjustment: DVA）が合計で-2 億 700 万ユーロ（前年同期は+1 億 6100 万ユーロ）含まれていたのに加え、新韓金融持株会社株およびユーロネクスト株の売却による譲渡益が合計で+2 億 3300 万ユーロ含まれていました。なお、前年同期の営業収益には、VISA ヨーロッパ株の売却益 +5 億 9700 万ユーロが含まれていました。

事業部門全体の営業収益は、当上半期に前年同期比 4.7%の増収となりました。これを部門別にみると、国内市場部門⁴では、低金利環境によるマイナス影響を順調な事業開発の成果が一部打ち消し、当上半期は 0.3%の若干の減収となりました。国際金融サービス部門では、活発な営業活動の恩恵を受けて、営業収益は 4.5%の増収でした。CIB では、2016 年序盤の厳しい市場環境の反動で、当上半期の営業収益は前年同期比 11.8%の急回復を果たしました。

営業費用は当上半期に 151 億 9000 万ユーロに上り、前年同期と比べて 3.2%増加しました。当上半期の営業費用には、買収に関わる一過性の事業再編費用⁵として 3600 万ユーロ（前年同期は 7400 万ユーロ）が含まれていたのに加え、事業改編計画に関わる費用として 2 億 4300 万ユーロ（前年同期は 8000 万ユーロ）が含まれていました。当上半期の事業改編費用は、2017-2020 年度事業開発計画のプログラムが徐々に導入されたことから、依然として限定的な水準に留まりました。

なお、当上半期の営業費用には、銀行業務に関わる税金および拠出金が合計で 10 億 6700 万ユーロ含まれています（前年同期は 9 億 8900 万ユーロ）。これらは IFRIC 第 21 号「賦課金」の解釈に基づき、毎事業年度の負担分の全額を主に第 1 四半期に計上したものです。

¹ 一時項目による税引後ベースの影響：2017 年度第 2 四半期は -1 億 7000 万ユーロ；2016 年度第 2 四半期は +3 億 7000 万ユーロ

² 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した比率

³ 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき算定された比率

⁴ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）

⁵ 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響



事業部門全体の営業費用は、当上半期に前年同期比 2.4%増加しました。部門別では、国内市場部門¹で +1.9%増加し、国際金融サービス部門で+2.7%増加し、CIB では+2.8%増加しました。これらの営業費用には、上記の IFRIC 第 21 号の適用による影響が含まれています。

これらを受けて、グループの当上半期の営業総利益は、前年同期比 5.4%減少して 70 億 4500 万ユーロとなりました。なお事業部門全体では、前年同期と比べて 9.5%増加しました。

リスク費用は、当上半期に 12 億 5400 万ユーロの低水準となり（前年同期は 15 億 4800 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 34bp 相当でした。このような前年同期比 19.0%の減少にはとりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、および、イタリアで優良法人顧客向け融資の見直しが特に奏功し、引き続き状況が改善したことが反映されています。

グループの営業利益は、当上半期に 1.9%減少して 57 億 9100 万ユーロとなりました（前年同期は 59 億 100 万ユーロ）。なお事業部門全体では、営業利益は前年同期比 20.3%の増益を果たしました。

営業外項目は、当上半期に 4 億 2400 万ユーロとなりました（子会社株式の評価切り下げがあった前年同期は 2 億 6200 万ユーロ）。

これらを受けて、当上半期の税引前利益は前年同期比 0.8%増加して 62 億 1500 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は 61 億 6300 万ユーロでした。事業部門全体では、当上半期の税引前利益は前年同期比 20.9%の大幅増益を果たしました。

以上から、当上半期の株主帰属純利益は 42 億 9000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 1.9%の減益でした。なお、一時項目による影響を除くと²、当上半期の極めて良好な業績を反映して株主帰属純利益は 43 億 8400 万ユーロに上り、前年同期と比べて 15.5%の大幅増益を果たしました。

当上半期の自己資本利益率は、年率換算後で 10.6%となりました。また有形自己資本利益率は、年率換算後で 12.5%でした。

¹ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの 100%を含む

² 一時項目による税引後ベースの影響：2017 年度上半期は -9400 万ユーロ；2016 年度上半期は +5 億 7800 万ユーロ

リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

国内市場部門は、当四半期も活発な事業活動を展開しました。融資残高は、リテールバンキング業務および専門的金融業務において貸出が順調に伸びたことから、前年同期比 **5.7%**増加しました。預金残高は全ての国で高い伸びを示し、当四半期に **9.2%**増加しました。プライベート・バンキング業務では、運用資産残高が **2017年6月末時点**で、**2016年6月末**の水準から**+7.9%**増加したことに加え、当四半期に **15億ユーロ**の高水準の資金純流入がありました。**Hello bank!** は成長を持続させるとともに、新規顧客の獲得が順調に進みましたが、とりわけフランス国内では前年同期比 **18%**の増加を果たしました。

国内市場部門は当四半期にフランスの **Compte-Nickel** の買収を完了しましたが¹、これにより銀行業務の新分野を開拓すべく設計された組織の強化が期待されます。**Compte-Nickel** は、フランスのタバコ販売業者の業界団体である **Confédération des Buralistes** との独占的な提携関係を延長しています。このような **Compte-Nickel** を買収することにより国内市場部門は、**Hello bank!**と併せて、リテール分野におけるデジタルバンキングの商品群と支店網において、様々な顧客セグメントのニーズに対応できる幅広い充実したソリューションを揃えることができるでしょう。**Compte-Nickel** は、業務開始以来の過去 **3年間**のうちに **63万口**（当四半期中の **8万1千口**超を含む）を越す口座を開設するに至り、フランスで真の成功を収めています。今後の目標として、新規顧客の獲得を加速化し、**2020年**までに **200万口**の口座開設を目指します。

国内市場部門はまた、以下のように引き続きデジタル変革を推進しました。すなわち、当四半期にフランスでクレディ・ミュチュエル²と共に、カルフル、オーシャン、トタルなどの大手小売業グループと提携関係を結び、高付加価値の新たなアプリである **Lyf Pay** を導入しました。**Lyf Pay** は、デビットカード、ロイヤリティプログラム、割引プランなどを組み合わせた総合的なモバイル決済ソリューションです。

営業収益³は当四半期に **39億5100万ユーロ**となり、前年同期と比べて **0.3%**の若干の減収でした。その背景には、事業成長による増収効果を、低金利環境によるマイナス効果が打ち消したことがあります。それでも当事業部門は、国内ネットワークの全体にわたり手数料収入の増加を果たしました。

営業費用³は当四半期に **24億8800万ユーロ**となり、前年同期と比べて **1.6%**増加しました。これには専門的金融業務の開発、および当四半期にアルバルで新たなデジタルサービスを導入した費用が負担となっていました。なお、フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNL バンカ・コメルシアーレ（BNL bc）およびベルギー国内リテールバンキング（BRB）だけをみると、当四半期の営業費用は平均で **0.5%**の増加に留まりました。

これらを受けて、営業総利益³は前年同期と比べて **3.3%**減少し、**14億6300万ユーロ**となりました。

リスク費用は当四半期に前年同期比 **-8.6%**と大きく減少しましたが、これにはとりわけ **BNL バンカ・コメルシアーレ**における大幅減少が貢献しました。

以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の **3分の1**を、ウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁴は当四半期に **10億5200万ユーロ**となり、前年同期と比べて **2.3%**の減益でした。

2017年度上半期において、営業収益³は **79億300万ユーロ**となり、前年同期と比べて **0.3%**の若干の減収でした。その背景には、事業成長による増収効果を、低金利環境によるマイナス効果が打ち消したことがあります。それでも当事業部門は、国内ネットワークの全体にわたり手数料収入の増加を果たしました。営業費用³は当上半期に **53億6800万ユーロ**となり、前年同期 **1.9%**増加しました。

¹ 買収契約の調印は 2017年7月12日

² CM11-CIC

³ フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁴ PEL/CELの影響を除く：2017年度第2四半期は+100万ユーロ；2016年度第2四半期は-2100万ユーロ



なお IFRIC 第 21 号の影響¹を除くと、営業費用の増加幅は 1.1%に留まりますが、これには専門的金融業務の開発が影響していました（FRB、BNL bc および BRB だけをとると、増加幅はさらに縮小して 0.5%）。これらを受けて、当上半期の営業総利益²は前年同期比 4.6%減少し、25 億 3500 万ユーロとなりました。リスク費用は、とりわけ BNL bc での激減が貢献し、当上半期に前年同期比 14.4%の大幅減少を果たしました。以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を、ウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益³は当上半期に 17 億 5900 万ユーロとなり、前年同期と比べて 0.4%の減益でした。

フランス国内リテールバンキング（FRB）

フランス国内リテールバンキング（FRB）は、当四半期に積極的な事業展開を推進しました。融資残高は、個人および法人顧客向けの貸出が引き続き伸びたことから、低調であった前年同期と比べて 8.3%増加しました。預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し、当四半期に前年同期比 13.1%増加しました。生命保険が順調に伸び、保有契約高は 2016 年 6 月末と比べて 4.5%増加しました。プライベート・バンキングの運用資産残高は、当四半期中の高い資金純流入（6 億 2300 万ユーロ）を受けて+10.3%の急増を果たしました。

FRB はまた、2018 年度に支店網の管理体制を現在の 4 層から 3 層へと徐々に削減することによる、ネットワーク組織の簡素化が予定されていることを、当四半期に発表しました。その目的は、コストを合理化し、意思決定プロセスを短縮化し、顧客満足度を高めることにあります。

営業収益⁴は、当四半期に 16 億 600 万ユーロとなり、前年同期と比べて 0.1%の減収でした。純利息収入⁴は、長引く低金利環境のマイナス影響を事業成長による増収効果が一部補いましたが、前年同期比 1.7%減少しました。手数料収入⁴については、とりわけ金融手数料の増加を受けて、当四半期に 1.8%増加しました。

営業費用⁴は、確かなコスト抑制を反映して当四半期に 11 億 1600 万ユーロとなり、前年同期比 0.8%の増加に留まりました。

これらを受けて、当四半期の営業総利益⁴は 4 億 9000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 2.3%減少しました。

当四半期のリスク費用⁴は、8000 万ユーロで（前年同期は 7200 万ユーロ）依然として低水準に留まり、顧客向け融資残高の 21bp 相当でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRB の税引前利益⁵は当四半期に 3 億 7100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 6.8%の減益でした。

2017 年度上半期において、営業収益⁴は 32 億 2600 万ユーロとなり、前年同期比 0.8%の減収でした。純利息収入⁴は、長引く低金利環境のマイナス影響を事業成長による増収効果が一部補いましたが、前年同期比 3.1%減少しました。手数料収入⁴については、とりわけ金融手数料の増加を受けて、当上半期に 2.2%増加しました。営業費用⁴は当上半期に 22 億 9900 万ユーロとなり、前年同期比 0.9%増加しました。なお、IFRIC 第 21 号⁶の影響を除くと、当上半期の営業費用は 0.6%の増加に留まりました。これらを受けて、営業総利益⁴は当上半期に 9 億 2700 万ユーロとなり、前年同期と比べて 4.7%減少しました。リスク費用⁴は 1 億 5800 万ユーロで（前年同期は 1 億 4600 万ユーロ）依然として低水準に留まり、顧客向け融資残高の 21bp 相当でした。

¹ 2016 年度第 2 四半期にコーポレート・センターで、2016 年度第 3 四半期に BRB でそれぞれ認識された拠出金および銀行税の増加分を、当四半期に費用計上したことが特に影響

² フランス（PEL/CEL の影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む

³ PEL/CEL の影響を除く：2017 年度上半期は-100 万ユーロ；2016 年度上半期は-300 万ユーロ

⁴ フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）

⁵ PEL/CEL の影響を除く：2017 年度第 2 四半期は +100 万ユーロ；2016 年度第 2 四半期は -2100 万ユーロ

⁶ 2016 年度第 2 四半期にコーポレート・センターで認識された単一破綻処理基金への拠出金の増額分を、2017 年度第 1 四半期に計上したことが特に影響



以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益¹は当上半期に6億9000万ユーロとなり、前年同期と比べて8.9%の減益でした。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の融資残高は、個人顧客向け貸出が牽引し、当四半期に前年同期比0.6%増加しました。預金残高は、当座預金の急増を受けて前年同期比10.7%の増加を果たしました。BNL bcはオフバランス貯蓄商品で以下のように好業績を収めました：生命保険の保有契約高は6.4%増加し、また、ミューチュアルファンドの残高は2016年6月末と比べて13.3%増加しました。プライベート・バンキング業務は、運用資産残高を順調に伸ばしました（2016年6月末比5.3%の増加）。BNL bcは引き続きデジタルバンキング業務の開発を推進した結果、デジタルチャネルを通して獲得した顧客は新規顧客の20%近くを占めました。

営業収益²は、当四半期に前年同期から2.8%減少して7億2900万ユーロとなりました。純利息収入²は、長引く低金利環境の影響を受けて当四半期に6.7%減少しました。一方、手数料収入²は、オフバランス貯蓄商品およびプライベート・バンキング業務の開発が順調に進み、前年同期比4.3%増と着実に伸びました。

営業費用²は、確かなコスト抑制を反映して、当四半期に4億3000万ユーロとなり0.6%減少しました。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に2億9900万ユーロで前年同期比5.7%減少しました。

リスク費用²は、貸出ポートフォリオの質が徐々に改善したことを反映して、顧客向け融資残高の113bp相当となり、前年同期の水準から2000万ユーロ減少しました。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に6500万ユーロとなり、前年同期と比べて0.3%の減益でした。

2017年度上半期において、営業収益²は前年同期比2.1%減少して14億5600万ユーロとなりました。純利息収入²は、長引く低金利環境の影響を受けて当上半期に6.1%減少しました。一方、手数料収入²は、オフバランス貯蓄商品およびプライベート・バンキング業務の開発が順調に進み、前年同期比5.5%増加しました。営業費用²は、確かなコスト管理を反映して、当上半期に8億9900万ユーロで前年同期比0.5%の増加に留まりました（IFRIC第21号³の影響を除くと+0.3%の増加）。これらを受けて、営業総利益²は当上半期に5億5700万ユーロとなり、前年同期と比べて5.9%減少しました。リスク費用²は、貸出ポートフォリオの質が徐々に改善したことを反映して、前年同期の水準から6600万ユーロ減少し、顧客向け融資残高の114bp相当となりました。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当上半期に8300万ユーロに上り、前年同期と比べて46.5%の大幅増益となりました。

ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期に引き続き積極的な事業活動を展開しました。融資残高は、法人顧客向け貸出の順調な伸びに加え住宅ローンも伸びたことから、前年同期と比べて5.6%増加しました。一方、預金残高は、特に当座預金の高い伸びを受けて、当四半期に3.2%増加しました。また、ミューチュアルファンドの残高も順調に伸び、2016年6月末の水準から8.6%増加したことに加え、プライベート・バンキングの運用資産残高が確かな伸びを示し、2016年6月末と比べて6.5%増加しました。

¹ PEL/CELの影響を除く：2017年度上半期は-100万ユーロ；2016年度上半期は-300万ユーロ

² イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む

³ 2016年度第2四半期にコーポレート・センターで認識された単一破綻処理基金への拠出金の増額分を、2017年度第1四半期に計上したことが特に影響

営業収益¹は、当四半期に前年同期比 0.8%の増収となり、9 億 3000 万ユーロに上りました。純利息収入¹は、低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果が一部補いましたが、前年同期比 3.4%減少しました。一方、手数料収入¹は、低調であった 2016 年度第 2 四半期の水準と比べて 13.8%の急増を果たしました。

営業費用¹は、確かなコスト管理を反映して当四半期に前年同期比 0.9%増加し、5 億 6000 万ユーロとなりました。

これらを受けて、営業総利益¹は 3 億 7000 万ユーロとなり、前年同期から 0.7%増加しました。

当四半期のリスク費用¹は 2800 万ユーロで、顧客向け融資残高の 11bp 相当でした。なお、前年同期には特定の融資に関わる引当金が大きく影響したことから、リスク費用は 4900 万ユーロに上りました。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に 3 億 2500 万ユーロに上り、前年同期と比べて 7.7%の増益となりました。

2017 年度上半期において、営業収益¹は前年同期比 1.2%の増収となり、18 億 6100 万ユーロに上りました。純利息収入¹は、低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果が一部補いましたが、前年同期比 1.4%減少しました。一方、手数料収入¹は、低調であった 2016 年度上半期の水準と比べて 9.1%増加しました。営業費用¹は、前年同期比 2.7%増加し 13 億 8300 万ユーロとなりました。なお、IFRIC 第 21 号²による影響を除くと、営業費用は確かなコスト管理を反映して 0.5%の増加に留まりました。これらを受けて、営業総利益¹は当上半期に 4 億 7900 万ユーロとなり、前年同期比 3.0%減少しました。リスク費用¹は、当上半期の貸倒引当金戻入益がとりわけ影響し、前年同期の 7000 万ユーロから大幅に減少して 2700 万ユーロとなりました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当上半期に 4 億 2200 万ユーロに上り、前年同期と比べて 8.1%の増益を果たしました。

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング）

国内市場部門の専門的金融業務は、高い水準の伸びを記録しました。アルバルでは、事業開発を高水準で維持した結果、ファイナンス・フリートが力強い伸びを示し、契約台数は前年同期比 8.1%増加しました。リーシング・ソリューションズでは、ファイナンスリース残高が着実な伸びを示しました。個人投資家部門では新規顧客の獲得が順調に進み、当四半期は 36 億ユーロに上る高水準の資金純流入がありました。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、住宅ローンおよび法人向け貸出の伸びに支えられて、融資残高が前年同期比 7.0%増加しました。預金残高は、とりわけ法人顧客セグメントで旺盛な資金流入があったことから、前年同期と比べて 13.7%の増加を果たしました。

営業収益³は、その他国内市場部門全体で前年同期比 0.7%の増収となり、6 億 8600 万ユーロに上りました。

営業費用³は、前年同期と比べて 7.8%増加して 3 億 8200 万ユーロとなりました。これにはアルバルで当四半期に導入された新たなデジタルサービス（特に、フリートの管理・報告プラットフォームである Total Fleet）に関わる費用が大きく影響していました。

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む

² 2016 年度第 3 四半期に認識された銀行に対する新税を、2017 年度第 1 四半期に費用計上したことが特に影響

³ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む



リスク費用¹は前年同期から100万ユーロ増加し、当四半期は2600万ユーロとなりました。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら4つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、当四半期に2億9100万ユーロとなり、前年同期と比べて6.6%減少しました。

2017年度上半期において、営業収益¹は全体として前年同期比1.0%の増収となり、13億6000万ユーロに上りました。非経常項目の影響を除くと、当上半期の営業収益は1.7%の増収でした。営業費用¹は、前年同期から5.3%増加して7億8700万ユーロとなりました。なおIFRIC第21号の影響²を除くと、当上半期の営業費用は、事業開発に加え、アルバルで当上半期に新デジタルサービスを導入した費用も負担となったことから、前年同期比4.9%増加しました。当上半期のリスク費用¹は、前年同期から1700万ユーロ減少して3900万ユーロとなりました。以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら4つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、当上半期に5億6500万ユーロとなり、前年同期と比べて0.3%増加しました。

*
* *

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は、以下のように全ての業務部門で積極的な事業活動を展開しました：パーソナル・ファイナンスは活発な事業活動を維持しました；欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストは、順調に事業を拡大しました；保険およびウェルス&アセット・マネジメントでは運用資産残高を着実に伸ばしました（2016年6月末と比べて6.8%増加）。

営業収益は、当四半期に39億3500万ユーロに上り、前年同期と比べて3.2%の増収でした。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、全ての業務部門で伸びを示したため、営業収益の増加幅は4.2%となります。

営業費用は、当四半期に23億6700万ユーロで前年同期比2.8%の増加となったことから（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと4.1%の増加）、正のジョーズ効果が生み出されました。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に15億6800万ユーロに上り、前年同期比3.8%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと4.4%の増加）。

リスク費用は3億3100万ユーロの低水準となり、前年同期から2400万ユーロ減少しました。

以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は当四半期に14億500万ユーロに上り、前年同期比11.3%の大幅増益を果たしました。

2017年度上半期において、国際金融サービス部門は極めて良好な業績を収めました。営業収益は当上半期に78億4400万ユーロに上り、前年同期比4.5%の増収となりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、事業開発が順調に進んだため全ての業務部門で増収を果たし、当上半期の営業収益は5.1%の増収となりました。営業費用は当上半期に48億7300万ユーロで前年同期比2.7%の増加となったことから（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと3.5%の増加）、大幅な正のジョーズ効果が生み出されました。これらを受けて、営業総利益は当上半期に29億7100万ユーロに上り、前年同期比7.5%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと7.8%の増加）。

¹ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む

² 2016年度第2四半期にコーポレート・センターで認識された単一破綻処理基金への拠出金の増額分を、2017年度第1四半期に計上したことが特に影響



リスク費用は 6 億 4500 万ユーロの低水準となり、前年同期と比べて 5000 万ユーロ減少しました。以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は前年同期比 13.5%の大幅増益を果し、26 億 2700 万ユーロとなりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと 14.1%の増益）。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、当四半期も積極的な活動を展開しました。融資残高は、欧州景気の復調を受けた借入需要の高まりと新たな提携関係の効果のおかげで、当四半期に前年同期比 11.9%増加しました。パーソナル・ファイナンスはイノベーションを継続した結果、イタリアおよびスペインでクレジットカードに新たな機能を導入し、また、デジタルバンキングの開発の一環として 2017 年度第 1 四半期に導入された電子署名機能を活用し、既にイタリアでモバイルフォンの電子署名の利用率が 23%に上っています。

パーソナル・ファイナンスの積極的な事業展開はまた、当四半期にスウェーデンの消費者金融の専門会社である SevenDay Finans AB の買収を発表したことも表れています。SevenDay Finans AB の顧客数は 7 万口を数え、融資残高は 2017 年 6 月末現在で 5 億 7900 万ユーロに上っていました。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は、融資残高の増加およびより優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフトが奏功し、当四半期に前年同期比 4.4%増加して 12 億 2000 万ユーロに上りました。イタリア、スペインおよびドイツでの健闘が、当四半期の営業収益を押し上げました。

当四半期の営業費用は、前年同期比 5.9%増加して 5 億 7900 万ユーロとなりました。非経常項目の影響を除くと、営業費用の増加幅は 4.3%に縮小しますが、これには事業開発に関わる費用が含まれています。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に 6 億 4100 万ユーロに上り、前年同期と比べて 3.1%増加しました。

リスク費用は、低金利環境およびより優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフトが奏功し、当四半期に 2 億 2500 万ユーロの低水準で（前年同期は 2 億 4800 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 131bp 相当となりました。当四半期のリスク費用にはまた、不良債権の売却を受けて計上された引当金戻入益による 1500 万ユーロのプラス効果が反映されています。

以上から、関連会社による利益貢献の大幅増¹を考慮した上で、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、意欲的な事業活動の成果を反映し、当四半期に 4 億 4500 万ユーロへと躍進しました（前年同期比 22.3%の増益）。

2017 年度上半期において、営業収益は、融資残高の増加およびより優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフトが奏功し、当上半期に前年同期比 4.5%の増収となり 24 億 2100 万ユーロに上りました。営業費用は、前年同期比 5.0%増加して 12 億 1300 万ユーロとなりました。なお、IFRIC 第 21 号および非経常項目の影響²を除くと、営業費用の増加幅は 3.7%に縮小しますが、これには積極的な事業開発に関わる費用が含まれています。これらを受けて、営業総利益は 12 億 800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 4.0%増加しました。リスク費用は、低金利環境およびより優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフトが奏功し、当上半期に 4 億 6500 万ユーロの低水準で（前年同期は 4 億 7000 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 139bp 相当となりました。以上から、関連会社による利益貢献の大幅増¹を考慮した上で、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当上半期に 7 億 9800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 14.6%の増益を果しました。

¹ 注：2016 年度第 2 四半期に子会社株式の減損処理を実施

² 2016 年度第 2 四半期にコーポレート・センターで認識された単一破綻処理基金への拠出金の増額分を、2017 年度第 1 四半期に計上したことが特に影響

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門では、当四半期も事業が成長を持続しました。融資残高は、全ての地域で着実に伸びたことから、前年同期比 **5.4%**¹ 増加しました。同様に、預金残高は前年同期から **7.9%**¹ の増加を果たしました。当部門は引き続きデジタルバンキングの開発を推進した結果、トルコで **CEPTETEB** の顧客数が既に **42** 万口に達しており、またポーランドでは **BGZ OPTIMA** の顧客数が **20** 万 5 千口を上回っています。

営業収益² は、融資残高の増加を受けて当四半期に **5** 億 **9000** 万ユーロに上り、前年同期と比べて **4.0%**¹ の増収でした。

営業費用² は、順調な事業開発を反映して当四半期に **4** 億 **2000** 万ユーロとなり、前年同期比 **4.5%**¹ 増加しました。

リスク費用² は、当四半期に **7000** 万ユーロで（前年同期は **8700** 万ユーロ）、顧客向け融資残高の **73bp** 相当になりました。当四半期のリスク費用は、**2100** 万ユーロの引当金戻入益の恩恵を受けています。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の **3** 分の **1** をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に **1** 億 **5100** 万ユーロに上り、前年同期と比べて **12.3%**³ の増益を果たしました。

2017年度上半期において、営業収益² は、融資残高の増加を受けて **11** 億 **8300** 万ユーロに上り、前年同期比 **5.1%**¹ の増収でした。営業費用² は、順調な事業開発を反映して当上半期に **8** 億 **4500** 万ユーロとなり、前年同期比 **4.7%**¹ 増加しました。リスク費用² は、当上半期に **1** 億 **3700** 万ユーロで（前年同期は **1** 億 **8300** 万ユーロ）、顧客向け融資残高の **71bp** 相当でした。当上半期のリスク費用は、**6100** 万ユーロの引当金戻入益の恩恵を受けています。以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の **3** 分の **1** をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当上半期に **3** 億ユーロに上り、前年同期から **19.6%**⁴ の大幅増益を果たしました。

バンクウエスト

バンクウエストは、当四半期も積極的な事業展開を推進しました。融資残高は、法人および個人顧客向け貸出が引き続き伸びたことから、前年同期比 **7.2%**¹ 増加しました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びを受けて、前年同期比 **11.2%**¹ 増加しました。プライベート・バンキング業務の運用資産残高は、**2017年6月末**現在で **126** 億米ドルに上りましたが、**2016年6月末**の水準と比べて **15.8%**¹ の増加を果たしました。バンクウエストはデジタルバンキングの開発を継続した結果、同行が提供するオンラインサービスの利用者数は既に **38** 万 **5** 千口に上っています。さらに、バンクウエストは、当グループ全体との協力体制を構築しているところです（例：“**One Bank for Corporates**”、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンスなど）。

営業収益⁵ は、融資残高の増加、金利の上昇傾向に加え、手数料収入の増加を受けて、当四半期に **7** 億 **6200** 万ユーロに上り、前年同期比 **7.9%**¹ 増加しました。

営業費用⁵ は、順調な事業開発を反映して、当四半期に **5** 億 **1300** 万ユーロとなり前年同期比 **3.9%**¹ 増加しました。これにより大幅な正のジョーズ効果が生み出されました。

当四半期のリスク費用⁵ は、**3800** 万ユーロで（前年同期は **2300** 万ユーロ）依然として低い水準に留まり、顧客向け融資残高の **23bp** 相当でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコのプライベート・バンキングの **100%** を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると、為替が不利に動いたため、**+1.6%**）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると、為替が不利に動いたため、**+7.2%**）

⁵ 米国プライベート・バンキングの **100%** を含む

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は、極めて良好な業績を反映して当四半期に2億600万ユーロに上り、前年同期比11.1%¹の増益を果たしました。

2017年度上半期において、営業収益²は15億2300万ユーロに上り、証券および貸付債権の売却により多額の譲渡益を計上した前年同期と比べても、1.0%³の増収となりました。かかる譲渡益の影響を除くと、当上半期の営業収益は、融資残高の増加や金利の上昇傾向を受けて、前年同期比6.7%³の増収となります。営業費用²は、確かなコスト管理を反映し、当上半期は10億6900万ユーロで前年同期比2.3%³増加しました。リスク費用²は当上半期に5900万ユーロと依然として低い水準に留まり（前年同期は4800万ユーロ）、顧客向け融資残高の18bp相当でした。以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当上半期に3億8400万ユーロとなり、前年同期比7.9%⁴の減益でした（なお、2016年度上半期に実施された証券および貸付債権の売却による譲渡益を除くと、当上半期の税引前利益は13.8%⁵の増収となります）。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険およびウェルス&アセット・マネジメント部門の運用資産残高⁶は、2017年6月末現在で1兆330億ユーロに達し、2016年6月末の水準と比べて6.8%増加しました。また、以下のように高水準の資金純流入および運用パフォーマンス効果を受けて、運用資産残高は2016年12月末の水準から230億ユーロ増加しました。資金純流入は総額162億ユーロに上りました：ウェルス・マネジメントでは旺盛な資金流入がありましたが、特にフランスおよびアジアが貢献しました；アセット・マネジメントでも資金純流入があり、特に分散型ファンドがその恩恵を受けました；保険部門では、特にユニットリンク保険への資金流入が順調でした。運用パフォーマンス効果：228億ユーロの高い運用パフォーマンス効果があった一方で、-162億ユーロの不利な為替の影響がこれを一部打ち消しました。

2017年6月末現在、運用資産残高⁶の部門別内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは4210億ユーロ；ウェルス・マネジメントは3550億ユーロ；保険部門は2320億ユーロ；不動産管理部門は240億ユーロ。

アセット・マネジメント業務は事業開発を継続し、当四半期に、BNP Paribas Asset Managementとして統一された名称を発表するとともに、プライベート・デットおよび実物資産（特にインフラストラクチャーや不動産）を運用する専門チームの設置を発表しました。

保険部門では、営業収益は当四半期に6億1900万ユーロに上りましたが、多額の実現益の計上により高水準であった前年同期と比べて1.4%の増収となりました。当四半期の営業収益には、市場の上昇トレンドによる影響に加え、アジアで保障保険や貯蓄型保険が好成績を上げたことが反映されていました。営業費用は、順調な事業開発を受けて当四半期に2億9700万ユーロとなり、前年同期比7.0%増加しました。以上から、当四半期の税引前利益は3億7600万ユーロとなり、前年同期と比べて2.9%の減益でした。

ウェルス&アセット・マネジメント部門では、とりわけアセット・マネジメント業務が好業績を収め、営業収益は当四半期に7億6000万ユーロで、前年同期比2.3%の増収となりました。営業費用は、確かなコスト管理を反映して当四半期に5億6700万ユーロとなり、前年同期比1.7%減少したことから、正のジョーズ効果が生み出されました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国からプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に2億2600万ユーロに上り、前年同期と比べて24.6%の大幅増益を果たしました。これにはウェルス&アセット・マネジメント部門の全ての業務部門が好業績を収めたことが反映されています。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると、為替が有利に動いたため、+14.2%）

² 米国プライベート・バンキングの100%を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると-4.5%）

⁵ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると17.9%）

⁶ 分配金を含む



2017年度上半期において、**保険部門**の営業収益は12億1600万ユーロに上り、前年同期から14.0%の急回復を遂げました。当部門は高水準の活動を維持し、とりわけ保障保険および貯蓄型保険がアジアで健闘しました。営業費用は、順調な事業開発を反映して当上半期に6億2300万ユーロとなり、前年同期比6.2%増加しました。以上から、当上半期の税引前利益は7億200万ユーロで、前年同期比19.7%の大幅増益となりました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門では、全ての業務で増収を果たしたことから、営業収益は当上半期に15億3300万ユーロに上り、前年同期比4.6%増加しました。営業費用は確実に抑制され、当上半期は前年同期と比べて0.1%減少し、11億4300万ユーロとなりました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国からプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当上半期に4億4300万ユーロに上り、前年同期比27.0%の大幅増益を果たしました。

*
* *

ホールセールバンキング事業 (CIB)

ホールセールバンキング事業 (CIB) は、当四半期に極めて良好な業績を収めました。

営業収益は31億9700万ユーロに上り、好調であった前年同期の高い水準と比べても4.6%の増収を果たしました。

グローバルマーケット部門の営業収益は、FICC¹は低調であったものの株式デリバティブは顧客業務が高水準で推移したことから、当四半期に15億2300万ユーロとなり、前年同期と比べて2.3%の若干の減収でした。市場リスクを測定するバリュー・アット・リスク (VaR) は、2700万ユーロで依然として極めて低水準に留まりました。

FICC¹ (フィクストインカム・通貨・コモディティ) 業務の営業収益は、当四半期に8億8300万ユーロとなり、前年同期比15.9%減少しました。その背景には、市場が活況を呈した2016年度第2四半期とは対照的に、当四半期は市場の全てのセグメントが低迷したことがあります。それでも当業務部門は債券引受業務でリーダー的地位を確認し、ユーロ建て全債券で第1位、また全国際債券で第9位にランクインしました。株式およびプライムサービス業務については、当四半期の営業収益は6億4000万ユーロに上り、前年同期比25.7%の大幅増収を果たしました。これにはプライムサービスおよび株式デリバティブ業務の健闘が貢献しました。また、Exane BNP Paribas²も成功を収めました。株式調査、仲介業務、およびセールスで、当四半期にExtelランキングで欧州の第1位を獲得したことにそれが表れています。

セキュリティーズ・サービス部門 (証券管理部門) の営業収益は、活発な営業活動および新たに獲得したマンドートからの増収効果で、当四半期は4億9800万ユーロに上り、前年同期比7.9%の増収となりました。当四半期は、カストディ業務の受託資産残高が前年同期比10.7%増加したことに加え、約定件数は前年同期から6.5%増加しました。また、当業務部門は引き続き大型マンドートを獲得しましたが、なかでも当四半期にアジアインフラ投資銀行 (AIIB) から獲得したグローバルカストディ業務 (180億ユーロの受託資産) のマンドートは特筆に値します。

コーポレートバンキング部門の営業収益は、EMEA³ (欧州・中東・アフリカ) およびアジアパシフィック地域の成長、および南北アメリカの安定した環境を受けて、当四半期に11億7600万ユーロに上り、前年同期比13.5%の増収を果たしました。当部門は、トランザクションバンキング業務 (トレードファイナンス、キャッシュマネジメント) で着実な成長を遂げ、また日常業務で高水準のキャピタルゲインを実現しました。融資残高は、当四半期に1313億ユーロに上り、前年同期比2.6%増加しました。預金残高は、順調なキャッシュマネジメント業務の開発のおかげで当四半期も引き続き伸びて、1340億ユーロに上り前年同期比18.3%増加しました。

¹ Fixed Income, Currencies and Commodities

² 持分法適用会社

³ Europe, Middle East, Africa

CIB の営業費用は当四半期に 19 億 8800 万ユーロとなり、前年同期から 6.0%の減少を果たしました。これは、CIB が早くも 2016 年年初に導入した事業改編計画の一環として、様々なコスト節減策を実施してきた効果が発揮されたものです。その結果、CIB は 4 四半期連続で大幅な正のジョーズ効果を生み出しており、同部門の業務効率が継続的に改善していることを反映しています。

これらを受けて、CIB の営業総利益は前年同期比 28.4%の大幅増を果たし、当四半期は 12 億 900 万ユーロに上りました。

リスク費用に関しては、当四半期に引当金戻入益が繰入額を上回ったことから、CIB は純額で 1 億 1800 万ユーロの引当金戻入益を計上しました（対して、前年同期には純額で 4600 万ユーロの引当金繰入額を計上）。部門別では、コーポレートバンキング部門は当四半期に純額で 7800 万ユーロの引当金戻入益を計上し（対して、前年同期には純額で 4200 万ユーロの引当金繰入額を計上）、グローバルマーケット部門は当四半期に純額で 3900 万ユーロの引当金戻入益を計上しました（対して、前年同期には純額で 400 万ユーロの引当金繰入額を計上）。

以上から、CIB の税引前利益は、当部門の極めて良好な業績を反映して、当四半期に 13 億 4900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 48.7%の大幅増益を達成しました。

2017 年度上半期において、営業収益は 64 億 2000 万ユーロに上り、年初に厳しい市場環境に見舞われた前年同期と比べて 11.8%の増収となりました。営業収益は CIB の全ての業務部門で大幅増となりました。グローバルマーケット部門の営業収益は、当上半期に 32 億 7700 万ユーロに上り、前年同期と比べて 14.0%の急増を果たしました。その背景には、2016 年序盤の非常に厳しい市場環境とは対照的に、当上半期は顧客業務が大幅に回復したことがあります。FICC¹ 業務の営業収益は、当上半期に 20 億 5700 万ユーロとなり 6.1%の増収でした。株式およびプライムサービス業務の営業収益は、デリバティブの顧客業務が回復したことに加えプライムサービスの高い伸びに押されて、当上半期に 12 億 2000 万ユーロとなり前年同期比 30.2%の大幅増を果たしました。セキュリティーズ・サービス部門の営業収益は、約定件数の増加と新規獲得したマンデートの効果を受けて、当上半期に 9 億 7500 万ユーロに上り前年同期比 8.2%の増収でした。コーポレートバンキング部門の営業収益は、全ての地域で高い伸びを示したことから、当上半期は 21 億 6700 万ユーロで前年同期比 10.3%の増収を果たしました。

CIB の営業費用は当上半期に 44 億 9400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 2.8%増加しました。当上半期の営業費用は、CIB が早くも 2016 年年初に事業改編計画を導入して以来実施してきた、様々なコスト節減策の恩恵を受けています。その結果 CIB は、業務効率の著しい改善を反映して、大幅な正のジョーズ効果を生み出しました。これらを受けて、営業総利益は当上半期に 40.6%の大幅増となり、19 億 2600 万ユーロに上りました。リスク費用に関しては、CIB は当上半期に純額で 1 億 7200 万ユーロの引当金戻入益を計上しました（前年同期は純額で 7400 万ユーロの引当金繰入額を計上）。部門別では、コーポレートバンキング部門は当上半期に純額で 1 億 3500 万ユーロの引当金戻入益を計上し（前年同期は純額で 9800 万ユーロの引当金繰入額を計上）、グローバルマーケット部門は当上半期に純額で 3600 万ユーロの引当金戻入益を計上しました（前年同期は純額で 2300 万ユーロの引当金戻入益を計上）。以上から、CIB は当上半期に極めて良好な業績を収めました。税引前利益は 21 億 2600 万ユーロに上り、低水準であった前年同期と比べて 62.3%の急回復を果たす快挙を遂げました。

*
* *

¹ Fixed Income, Currencies and Commodities

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は当四半期に 300 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 6 億 5000 万ユーロでした。2016 年度第 2 四半期の営業収益には、VISA ヨーロッパ株の売却による譲渡益として +5 億 9700 万ユーロが含まれていました。当四半期の営業収益には、ユーロネクスト株の 4.78% を売却した譲渡益が +8500 万ユーロ含まれていました。また当四半期の営業収益には、一時項目として、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額 (Own Credit Adjustment: OCA) およびデリバティブに関わる債務評価調整額 (Debt Value Adjustment: DVA) が合計で -2 億ユーロ含まれていました (前年同期は -2 億 400 万ユーロ)。さらに、プリンシパル・インベストメンツから高水準の収益貢献がありました。

営業費用は当四半期に 3 億ユーロに上り、これに対し前年同期は 2 億 9500 万ユーロでした。当四半期の営業費用には、一時項目として、買収に関わる事業再編費用¹ が 1500 万ユーロ含まれていたのに加え (前年同期は 5000 万ユーロ)、事業改編費用が 1 億 5300 万ユーロ含まれていました (前年同期は 5800 万ユーロ)。

リスク費用は当四半期に 9400 万ユーロに上りました (前年同期は 500 万ユーロ)。

営業外項目は当四半期に 4600 万ユーロとなりました。前年同期には、子会社株式に関わるのれんの減損損失が特に影響し、営業外項目は -4900 万ユーロが計上されました。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に -3 億 4600 万ユーロとなり、これに対し前年同期は +3 億 100 万ユーロでした。

2017 年度上半期において、コーポレート・センターの営業収益は 3 億 6000 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は 12 億 6800 万ユーロでした。当上半期の営業収益には、一時項目として、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額 (Own Credit Adjustment: OCA) およびデリバティブに関わる債務評価調整額 (Debt Value Adjustment: DVA) が合計で -2 億 700 万ユーロ含まれていたのに加え (前年同期は +1 億 6100 万ユーロ)、新韓金融持株会社株およびユーロネクスト株の売却による譲渡益が合計で +2 億 3300 万ユーロ含まれていました。さらに、プリンシパル・インベストメンツから高水準の収益貢献がありました。なお、前年同期の営業収益には、VISA ヨーロッパ株の売却益 +5 億 9700 万ユーロが含まれていました。営業費用は当上半期に 6 億 800 万ユーロに上り、これに対し前年同期は 4 億 7700 万ユーロでした。当上半期の営業費用には、一時項目として、買収に関わる事業再編費用¹ が 3600 万ユーロ含まれていたのに加え (前年同期は 7400 万ユーロ)、事業改編費用が 2 億 4300 万ユーロ含まれていました (前年同期は 8000 万ユーロ)。リスク費用は当上半期に 1 億 600 万ユーロとなりました (前年同期は 300 万ユーロの引当金戻入益を計上)。営業外項目は、当上半期は 5700 万ユーロとなりました (前年同期は、子会社株式に関わるのれんの減損損失が特に影響し、営業外項目は -1800 万ユーロでした)。以上から、コーポレート・センターの税引前損益は当上半期に -2 億 9600 万ユーロの損失となりましたが、これに対し前年同期は 7 億 7600 万ユーロの利益でした。

*
* *

財務構造

グループは極めて盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率²は、2017 年 6 月末現在で 11.7% となり、2017 年 3 月末の水準から 10bp 上昇しました。その主な要因として、配当性向 50% を前提とした当四半期純利益 (+20 bp)、および、為替レート変動による影響を除くリスク加重資産の増加 (-10 bp) があります。なお、為替変動による Tier 1 比率への影響は全体として軽微です。

¹ 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響

² 経過措置なしで全ての資本要求指令 4 (CRD4) 規則を考慮した比率。また、欧州議会・理事会規則 (EU) No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う



バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率¹は Tier 1 資本全部に基づき算定されますが、同比率は 2017 年 6 月末現在で 4.2%となりました。

流動性カバレッジ比率 (LCR) は、2017 年 6 月末現在で 116%でした。

当グループの即時利用可能な余剰資金は、2017 年 6 月末現在で 3440 億ユーロに上りました (2017 年 3 月末は 3450 億ユーロ)。これは短期資金調達との関係で、1 年超の余裕資金があることを意味します。

当グループの自己資本規制に関わる比率の推移は、グループが規制枠組みの制約のなかで、規律をもってバランスシートを管理する能力を有していることを証明しています。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は次のように述べています。

「株主帰属純利益の 24 億ユーロが示すように、BNP パリバは当四半期も極めて良好な業績を収めました。

事業部門の営業収益は、積極的な事業展開のおかげで増収を果たし、営業費用は事業改編計画の実施が奏功して減少しました。リスク費用は抑制された結果、大幅に減少しました。

当グループのバランスシートは極めて盤石であり、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率が 11.7%へ改善したことはこれを証明しています。

当四半期の好業績は、2017-2020 年度事業開発計画の開始年度において幸先の良いスタートを切ったことを意味しており、これを可能にした BNP パリバの全従業員の貢献に感謝の意を表します。」

¹ 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会 (EC) 委任法令に基づき算定された比率



連結損益計算書

	2Q17	2Q16	2Q17 / 2Q16	1Q17	2Q17 / 1Q17	1H17	1H16	1H17 / 1H16
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	10,938	11,322	-3.4%	11,297	-3.2%	22,235	22,166	+0.3%
営業費用および減価償却費	-7,071	-7,090	-0.3%	-8,119	-12.9%	-15,190	-14,717	+3.2%
営業総利益	3,867	4,232	-8.6%	3,178	+21.7%	7,045	7,449	-5.4%
リスク費用	-662	-791	-16.3%	-592	+11.8%	-1,254	-1,548	-19.0%
営業利益	3,205	3,441	-6.9%	2,586	+23.9%	5,791	5,901	-1.9%
持分法適用会社投資損益	223	165	+35.2%	165	+35.2%	388	319	+21.6%
その他営業外項目	33	-81	n.s.	3	n.s.	36	-57	n.s.
営業外項目	256	84	n.s.	168	+52.4%	424	262	+61.8%
税引前利益	3,461	3,525	-1.8%	2,754	+25.7%	6,215	6,163	+0.8%
法人税	-943	-864	+9.2%	-752	+25.4%	-1,695	-1,584	+7.0%
少数株主帰属純利益	-122	-101	+20.8%	-108	+13.0%	-230	-205	+12.2%
株主帰属純利益	2,396	2,560	-6.4%	1,894	+26.5%	4,290	4,374	-1.9%
コストインカム率	64.6%	62.6%	+2.0 pt	71.9%	-7.3 pt	68.3%	66.4%	+1.9 pt

BNP パリバの2017年度第2四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースに含まれています。法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。

2017 年度第 2 四半期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位：百万ユーロ)							
営業収益	3,803	3,935	3,197	10,935	3	10,938	
	対前年同期比	+0.0%	+3.2%	+4.6%	+2.5%	-99.6%	-3.4%
	対前四半期比	-0.1%	+0.7%	-0.8%	-0.0%	-99.3%	-3.2%
営業費用および減価償却費	-2,417	-2,367	-1,988	-6,771	-300	-7,071	
	対前年同期比	+1.6%	+2.8%	-6.0%	-0.4%	+1.7%	-0.3%
	対前四半期比	-13.7%	-5.5%	-20.7%	-13.3%	-2.8%	-12.9%
営業総利益	1,387	1,568	1,209	4,164	-297	3,867	
	対前年同期比	-2.7%	+3.8%	+28.4%	+7.4%	n.s.	-8.6%
	対前四半期比	+37.5%	+11.7%	+68.8%	+33.1%	n.s.	+21.7%
リスク費用	-356	-331	118	-568	-94	-662	
	対前年同期比	-7.6%	-6.9%	n.s.	-27.7%	n.s.	-16.3%
	対前四半期比	+11.4%	+4.9%	n.s.	-2.2%	n.s.	+11.8%
営業利益	1,031	1,237	1,328	3,596	-391	3,205	
	対前年同期比	-0.8%	+7.2%	+48.1%	+16.4%	n.s.	-6.9%
	対前四半期比	+49.6%	+13.7%	+72.4%	+41.1%	n.s.	+23.9%
持分法適用会社投資損益	21	153	5	179	44	223	
その他営業外項目	1	14	15	31	2	33	
税引前利益	1,053	1,405	1,349	3,807	-346	3,461	
	対前年同期比	-0.2%	+11.3%	+48.7%	+18.1%	n.s.	-1.8%
	対前四半期比	+49.4%	+14.9%	+73.4%	+40.7%	n.s.	+25.7%

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位：百万ユーロ)							
営業収益	3,803	3,935	3,197	10,935	3	10,938	
	前年同期	3,803	3,813	3,056	10,672	650	11,322
	前四半期	3,807	3,909	3,223	10,939	358	11,297
営業費用および減価償却費	-2,417	-2,367	-1,988	-6,771	-300	-7,071	
	前年同期	-2,378	-2,303	-2,115	-6,795	-295	-7,090
	前四半期	-2,799	-2,506	-2,506	-7,811	-308	-8,119
営業総利益	1,387	1,568	1,209	4,164	-297	3,867	
	前年同期	1,425	1,510	942	3,876	356	4,232
	前四半期	1,008	1,404	717	3,129	49	3,178
リスク費用	-356	-331	118	-568	-94	-662	
	前年同期	-385	-355	-46	-786	-5	-791
	前四半期	-319	-315	54	-581	-11	-592
営業利益	1,031	1,237	1,328	3,596	-391	3,205	
	前年同期	1,040	1,155	896	3,091	350	3,441
	前四半期	689	1,089	770	2,548	38	2,586
持分法適用会社投資損益	21	153	5	179	44	223	
	前年同期	13	111	13	137	28	165
	前四半期	11	128	8	146	19	165
その他営業外項目	1	14	15	31	2	33	
	前年同期	2	-4	-2	-4	-77	-81
	前四半期	5	6	0	11	-8	3
税引前利益	1,053	1,405	1,349	3,807	-346	3,461	
	前年同期	1,055	1,262	907	3,224	301	3,525
	前四半期	705	1,222	778	2,705	49	2,754
法人税							-943
少数株主帰属純利益							-122
株主帰属純利益							2,396



2017 年度上半期 - コア事業別業績

		リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
		国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
<i>(単位：百万ユーロ)</i>							
営業収益		7,611	7,844	6,420	21,875	360	22,235
	対前年同期比	-0.5%	+4.5%	+11.8%	+4.7%	-71.6%	+0.3%
営業費用および減価償却費		-5,215	-4,873	-4,494	-14,582	-608	-15,190
	対前年同期比	+1.8%	+2.7%	+2.8%	+2.4%	+27.4%	+3.2%
営業総利益		2,395	2,971	1,926	7,293	-248	7,045
	対前年同期比	-5.1%	+7.5%	+40.6%	+9.5%	n.s.	-5.4%
リスク費用		-675	-645	172	-1,148	-106	-1,254
	対前年同期比	-13.8%	-7.1%	n.s.	-26.0%	n.s.	-19.0%
営業利益		1,720	2,326	2,098	6,144	-353	5,791
	対前年同期比	-1.2%	+12.4%	+61.9%	+20.3%	n.s.	-1.9%
持分法適用会社投資損益		31	281	13	325	63	388
その他営業外項目		6	20	15	42	-6	36
税引前利益		1,758	2,627	2,126	6,512	-296	6,215
	対前年同期比	-0.3%	+13.5%	+62.3%	+20.9%	n.s.	+0.8%
法人税							-1,695
少数株主帰属純利益							-230
株主帰属純利益							4,290



連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
グループ						
営業収益	10,938	11,297	10,656	10,589	11,322	10,844
営業費用および減価償却費	-7,071	-8,119	-7,444	-7,217	-7,090	-7,627
営業総利益	3,867	3,178	3,212	3,372	4,232	3,217
リスク費用	-662	-592	-950	-764	-791	-757
営業利益	3,205	2,586	2,262	2,608	3,441	2,460
持分法適用会社投資損益	223	165	151	163	165	154
その他営業外項目	33	3	-146	9	-81	24
税引前利益	3,461	2,754	2,267	2,780	3,525	2,638
法人税	-943	-752	-721	-790	-864	-720
少数株主帰属純利益	-122	-108	-104	-104	-101	-104
株主帰属純利益	2,396	1,894	1,442	1,886	2,560	1,814
コスト/インカム率	64.6%	71.9%	69.9%	68.2%	62.6%	70.3%



(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く						
営業収益	7,737	7,719	7,758	7,735	7,636	7,522
営業費用および減価償却費	-4,784	-5,305	-5,200	-4,813	-4,681	-5,187
営業総利益	2,953	2,414	2,558	2,922	2,956	2,335
リスク費用	-686	-634	-824	-704	-740	-738
営業利益	2,267	1,780	1,733	2,218	2,216	1,598
持分法適用会社投資損益	174	139	130	140	124	136
その他営業外項目	16	11	-5	9	-2	8
税引前利益	2,457	1,930	1,858	2,367	2,339	1,742
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	50.7	50.6	49.0	48.8	48.6	48.7

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
リテールバンキングおよびサービス事業						
営業収益	7,738	7,717	7,765	7,728	7,615	7,540
営業費用および減価償却費	-4,784	-5,305	-5,200	-4,813	-4,681	-5,187
営業総利益	2,955	2,412	2,565	2,915	2,935	2,353
リスク費用	-686	-634	-824	-704	-740	-738
営業利益	2,269	1,778	1,741	2,212	2,195	1,616
持分法適用会社投資損益	174	139	130	140	124	136
その他営業外項目	16	11	-5	9	-2	8
税引前利益	2,458	1,927	1,866	2,360	2,318	1,760
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	50.7	50.6	49.0	48.8	48.6	48.7

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く						
営業収益	3,951	3,952	3,866	3,923	3,962	3,963
営業費用および減価償却費	-2,488	-2,880	-2,794	-2,567	-2,449	-2,818
営業総利益	1,463	1,072	1,072	1,356	1,513	1,145
リスク費用	-355	-319	-399	-329	-388	-399
営業利益	1,108	753	674	1,028	1,124	746
持分法適用会社投資損益	21	11	14	18	13	9
その他営業外項目	1	5	-6	8	2	-2
税引前利益	1,130	769	681	1,054	1,140	753
ウェルルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-78	-61	-59	-61	-63	-63
国内市場部門税引前利益	1,052	707	622	993	1,076	690
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	24.1	23.8	23.0	22.9	22.9	22.9

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,803	3,807	3,740	3,782	3,803	3,844
営業費用および減価償却費	-2,417	-2,799	-2,719	-2,494	-2,378	-2,745
営業総利益	1,387	1,008	1,022	1,288	1,425	1,099
リスク費用	-356	-319	-399	-327	-385	-398
営業利益	1,031	689	623	961	1,040	701
持分法適用会社投資損益	21	11	13	18	13	9
その他営業外項目	1	5	-6	8	2	-2
税引前利益	1,053	705	630	987	1,055	708
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	24.1	23.8	23.0	22.9	22.9	22.9

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)*						
営業収益	1,607	1,618	1,556	1,594	1,587	1,661
うち受取利息純額	886	909	907	916	879	972
うち手数料	721	708	649	678	709	689
営業費用および減価償却費	-1,116	-1,184	-1,216	-1,178	-1,106	-1,173
営業総利益	492	434	340	416	481	488
リスク費用	-80	-79	-124	-72	-72	-73
営業利益	412	355	215	345	408	415
営業外項目	0	0	1	0	1	1
税引前利益	412	356	217	345	409	416
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-40	-39	-32	-34	-32	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	372	316	184	310	377	377
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	9.3	9.2	8.7	8.6	8.5	8.6

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く**						
営業収益	1,606	1,620	1,548	1,601	1,608	1,643
うち受取利息純額	885	912	899	923	900	954
うち手数料	721	708	649	678	709	689
営業費用および減価償却費	-1,116	-1,184	-1,216	-1,178	-1,106	-1,173
営業総利益	490	436	332	423	502	470
リスク費用	-80	-79	-124	-72	-72	-73
営業利益	411	358	208	351	430	397
営業外項目	0	0	1	0	1	1
税引前利益	411	358	209	351	430	398
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-40	-39	-32	-34	-32	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	371	319	177	317	398	359
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	9.3	9.2	8.7	8.6	8.5	8.6

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	1,531	1,541	1,485	1,523	1,516	1,588
営業費用および減価償却費	-1,079	-1,146	-1,178	-1,141	-1,068	-1,139
営業総利益	452	395	307	382	448	450
リスク費用	-80	-79	-124	-71	-72	-73
営業利益	372	316	183	311	376	377
営業外項目	0	0	1	0	1	1
税引前利益	372	316	184	310	377	377
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	9.3	9.2	8.7	8.6	8.5	8.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

** PEL/CEL に関わる引当金: 当該引当金は、フランス国内リテールバンキングの収益に影響を及ぼすものであり、住宅積立預金口座 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅預金口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から生じるリスクについて、口座の存続期間全体にわたり設定されている。

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
PEL/CELの影響	1	-2	8	-7	-21	18

(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)*						
営業収益	729	727	745	741	749	737
営業費用および減価償却費	-430	-469	-543	-448	-433	-462
営業総利益	299	258	202	293	317	275
リスク費用	-222	-228	-229	-215	-242	-274
営業利益	77	30	-27	78	74	1
営業外項目	0	0	0	0	0	0
税引前利益	77	30	-27	78	74	1
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-12	-12	-10	-9	-9	-10
BNL バンカ・コメルシアーレ税引前利益	65	18	-36	70	65	-8
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.7	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0
(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)						
営業収益	707	706	725	721	730	718
営業費用および減価償却費	-420	-460	-533	-438	-423	-453
営業総利益	287	247	192	284	307	265
リスク費用	-222	-228	-229	-214	-242	-274
営業利益	65	18	-36	70	65	-8
営業外項目	0	0	0	0	0	0
税引前利益	65	18	-36	70	65	-8
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.7	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0
(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む) *						
営業収益	930	931	908	914	923	917
営業費用および減価償却費	-560	-823	-661	-575	-555	-791
営業総利益	370	108	247	339	367	126
リスク費用	-28	1	-9	-19	-49	-21
営業利益	343	109	237	320	318	106
持分法適用会社投資損益	6	-4	2	5	5	-4
その他営業外項目	2	0	-1	-2	0	0
税引前利益	351	106	239	323	323	102
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-25	-10	-17	-18	-21	-14
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	325	96	222	305	302	88
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.2	5.1	4.7	4.7	4.7	4.6
(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)						
営業収益	882	889	867	871	878	875
営業費用および減価償却費	-537	-790	-636	-550	-534	-763
営業総利益	346	99	230	321	344	112
リスク費用	-28	1	-10	-19	-46	-20
営業利益	317	99	221	302	297	92
持分法適用会社投資損益	6	-4	2	5	5	-4
その他営業外項目	2	0	-1	-2	0	0
税引前利益	325	96	222	305	302	88
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.2	5.1	4.7	4.7	4.7	4.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)

	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む)*						
営業収益	686	674	666	669	681	666
営業費用および減価償却費	-382	-405	-374	-367	-355	-393
営業総利益	304	269	292	302	327	273
リスク費用	-26	-14	-37	-23	-25	-31
営業利益	278	256	255	279	302	242
持分法適用会社投資損益	14	14	10	13	8	12
その他営業外項目	0	5	-6	10	3	-2
税引前利益	292	274	260	301	312	252
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-1	0	0	-1	-1
その他国内市場部門税引前利益	291	274	259	301	311	251
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8

(単位：百万ユーロ)

	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	683	671	663	666	679	663
営業費用および減価償却費	-381	-403	-372	-365	-353	-391
営業総利益	303	269	291	301	326	272
リスク費用	-26	-14	-36	-23	-25	-31
営業利益	277	255	255	278	301	241
持分法適用会社投資損益	14	14	10	13	8	12
その他営業外項目	0	5	-6	10	3	-2
税引前利益	291	274	259	301	311	251
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
国際金融サービス部門						
営業収益	3,935	3,909	4,025	3,946	3,813	3,696
営業費用および減価償却費	-2,367	-2,506	-2,481	-2,319	-2,303	-2,442
営業総利益	1,568	1,404	1,544	1,627	1,510	1,254
リスク費用	-331	-315	-425	-376	-355	-339
営業利益	1,237	1,089	1,118	1,251	1,155	915
持分法適用会社投資損益	153	128	116	122	111	127
その他営業外項目	14	6	1	1	-4	10
税引前利益	1,405	1,222	1,236	1,373	1,262	1,052
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	26.6	26.7	26.1	25.9	25.7	25.8
パーソナル・ファイナンス						
(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
営業収益	1,220	1,201	1,185	1,177	1,168	1,149
営業費用および減価償却費	-579	-634	-598	-544	-547	-609
営業総利益	641	568	587	632	621	540
リスク費用	-225	-240	-269	-240	-248	-221
営業利益	415	328	317	392	373	319
持分法適用会社投資損益	30	20	18	18	-8	13
その他営業外項目	0	5	-2	0	-1	1
税引前利益	445	353	334	411	364	333
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.4	5.3	4.9	4.9	4.8	4.8
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む) *						
(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
営業収益	590	592	630	659	616	608
営業費用および減価償却費	-420	-424	-431	-413	-429	-432
営業総利益	170	168	200	245	187	176
リスク費用	-70	-67	-127	-127	-87	-96
営業利益	100	101	73	118	100	80
持分法適用会社投資損益	53	48	49	48	53	50
その他営業外項目	-1	0	-1	0	-4	2
税引前利益	152	150	121	166	149	132
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-1	-1	0	-1	-1
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	151	149	120	165	149	132
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.0	5.0	5.2	5.2	5.2	5.1
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)						
(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
営業収益	588	590	628	656	614	606
営業費用および減価償却費	-419	-423	-429	-411	-428	-431
営業総利益	169	167	199	245	187	176
リスク費用	-70	-67	-127	-127	-87	-96
営業利益	99	100	72	118	100	80
持分法適用会社投資損益	53	48	49	48	53	50
その他営業外項目	-1	0	-1	0	-4	2
税引前利益	151	149	120	165	149	132
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.0	5.0	5.2	5.2	5.2	5.1

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) *						
営業収益	762	761	795	728	688	773
営業費用および減価償却費	-513	-556	-521	-501	-482	-534
営業総利益	249	205	274	227	207	239
リスク費用	-38	-22	-23	-14	-23	-25
営業利益	211	183	251	213	184	214
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他営業外項目	1	-1	4	1	1	10
税引前利益	212	182	255	214	184	225
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-5	-5	-5	-4	-3	-3
バンクウエスト税引前利益	206	177	251	210	181	221
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.6	6.7	6.3	6.2	6.3	6.4
(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)						
営業収益	748	748	782	716	677	762
営業費用および減価償却費	-505	-548	-513	-493	-474	-526
営業総利益	243	200	269	223	203	236
リスク費用	-38	-22	-23	-14	-23	-25
営業利益	206	178	246	209	180	211
営業外項目	1	-1	4	1	1	10
税引前利益	206	177	251	210	181	221
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.6	6.7	6.3	6.2	6.3	6.4
(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
保険						
営業収益	619	597	636	679	611	456
営業費用および減価償却費	-297	-326	-315	-299	-278	-309
営業総利益	322	271	321	380	333	147
リスク費用	-1	-1	-1	3	1	-1
営業利益	321	271	320	383	334	146
持分法適用会社投資損益	55	54	36	44	54	55
その他営業外項目	0	1	0	0	0	-3
税引前利益	376	326	356	427	387	199
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	7.7	7.8	7.5	7.4	7.4	7.4
(単位: 百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ウェルス&アセット・マネジメント						
営業収益	760	773	794	718	743	723
営業費用および減価償却費	-567	-576	-626	-572	-577	-567
営業総利益	193	198	168	146	166	156
リスク費用	4	14	-5	3	3	3
営業利益	197	212	163	149	169	159
持分法適用会社投資損益	15	5	13	12	13	8
その他営業外項目	14	0	0	0	0	0
税引前利益	226	217	176	161	181	167
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ホールセールバンキング事業 (CIB)						
営業収益	3,197	3,223	2,821	2,905	3,056	2,686
営業費用および減価償却費	-1,988	-2,506	-1,914	-2,022	-2,115	-2,258
営業総利益	1,209	717	907	883	942	428
リスク費用	118	54	-70	-74	-46	-28
営業利益	1,328	770	837	809	896	400
持分法適用会社投資損益	5	8	9	2	13	-3
その他営業外項目	15	0	-5	1	-2	6
税引前利益	1,349	778	841	812	907	403
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	21.8	22.1	22.2	22.2	22.0	21.9
コーポレートバンキング						
営業収益	1,176	991	1,071	958	1,037	929
営業費用および減価償却費	-590	-691	-567	-591	-601	-693
営業総利益	586	299	504	368	436	236
リスク費用	78	57	-115	-79	-42	-55
営業利益	664	356	388	289	394	181
営業外項目	19	7	14	-3	2	0
税引前利益	683	364	402	285	396	181
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	12.6	12.6	12.4	12.3	12.3	12.2
グローバルマーケット						
営業収益	1,523	1,754	1,284	1,490	1,558	1,318
うち FICC	883	1,174	838	1,082	1,050	890
うち株式およびプライムサービス	640	580	446	408	509	428
営業費用および減価償却費	-997	-1,424	-967	-1,065	-1,139	-1,184
営業総利益	526	330	317	425	419	134
リスク費用	39	-3	44	5	-4	27
営業利益	565	327	361	430	415	160
持分法適用会社投資損益	-1	0	-3	5	11	-4
その他営業外項目	3	0	-8	0	-2	6
税引前利益	567	326	350	435	424	163
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	8.4	8.7	9.0	9.1	9.0	9.1
証券管理						
営業収益	498	478	466	457	461	440
営業費用および減価償却費	-400	-390	-380	-367	-374	-382
営業総利益	97	87	86	90	87	59
リスク費用	1	0	2	0	1	0
営業利益	99	87	87	90	88	59
営業外項目	0	0	1	1	0	0
税引前利益	99	88	88	91	87	59
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7



(単位：百万ユーロ)	2Q17	1Q17	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
コーポレート・センター						
営業収益	3	358	70	-45	650	618
営業費用および減価償却費	-300	-308	-330	-381	-295	-182
うち事業再編、変革および適応費用	-168	-110	-154	-253	-108	-46
営業総利益	-297	49	-260	-426	356	435
リスク費用	-94	-11	-56	13	-5	9
営業利益	-391	38	-316	-413	350	444
持分法適用会社投資損益	44	19	13	22	28	21
その他営業外項目	2	-8	-136	0	-77	10
税引前利益	-346	49	-440	-391	301	475



代替的な業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM）
フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第 223-1 条にもとづく開示

代替的な業績指標	定義	使用理由
事業部門営業収益	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバンキング事業の営業収益の合計。(なお、国内市場部門の営業収益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの 2/3 を含む) BNP パリバ・グループ営業収益 = 事業部門営業収益 + コーポレート・センター営業収益	BNP パリバ・グループの本業の業績を表す指標
PEL/CEL の影響を除く営業収益	PEL/CEL による影響を除く営業収益	PEL/CEL 口座から発生するリスクに対して、口座の存続期間全体にわたり引当金が設定されるが、これらの変動が及ぼす影響を排除した上で、当期の営業収益を表す指標
プライベート・バンキングの 100%を含む リテールバンキング事業の損益計算書	リテールバンキング事業の損益計算書であり、プライベート・バンキング業務の損益計算書の全部を含む	リテールバンキング事業の業績を表す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む(プライベート・バンキングは、リテールバンキング (2/3) とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その損益計算書を責任割合に基づき分割する前の 100%を含む)
リスク費用÷期首融資残高(単位:bp)	リスク費用(単位:百万ユーロ)を期首の顧客向け融資残高で除したもの 詳細な算定方法については、決算プレゼンテーション資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」にて開示	事業体が負うリスクレベルの指標であり、融資残高を分母として算定し、%で表示
一時項目を除く株主帰属純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算プレゼンテーション資料のスライド「主な一時項目」にて開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNPパリバ・グループの純利益に関する指標。排除される項目の主なものに、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額(OCA)、デリバティブに関わる債務評価調整額(DVA)に加え、事業改編・再編費用などがある
自己資本利益率 (ROE)	ROE の詳細な算定方法については、決算プレゼンテーション資料に添付された「自己資本利益率および永久株主資本」にて開示	BNP パリバ・グループの自己資本利益率を表す指標
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTE の詳細な算定方法については、決算プレゼンテーション資料に添付された「自己資本利益率および永久株主資本」にて開示	BNP パリバ・グループの有形自己資本利益率を表す指標



比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

- 企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。
- 会社分割の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。
- 連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている

事業部門： 以下の3部門から成る：

- **国内市場部門：** フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNL バンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング（LRB））を含む
- **国際金融サービス部門（IFS）：** 欧州・地中海沿岸諸国、バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス、保険、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAMには、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる
- **ホールセールバンキング事業（CIB）：** コーポレートバンキング部門、グローバルマーケット部門、証券管理部門を含む



積極的な事業展開で順調に収益を伸ばす	2
リテールバンキングおよびサービス事業	5
国内市場部門	5
国際金融サービス部門	9
ホールセールバンキング事業 (CIB)	13
コーポレート・センター	15
財務構造	15
連結損益計算書	17
2017 年度第 2 四半期 – コア事業別業績	18
2017 年度上半期 – コア事業別業績	19
連結四半期業績の推移	20
代替的な業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM)	
フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第 223-1 条にもとづく開示	29

本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process: SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world